

不活性ガス消火設備（二酸化炭素）

1 仕組

不活性ガス消火設備は、二酸化炭素などを使用し、窒息作用により消火する設備です。消火後の汚損もないため、機械室やサーバールームなどに設置されています。

人がいる場合に、誤って起動すると、人体に悪影響を与えるため、使用方法に注意が必要です。

＜サーバールーム等の設置例＞ 放出表示灯

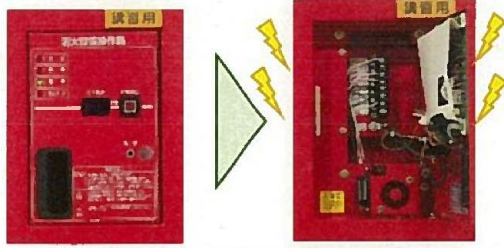


手動起動装置

「手動起動装置」を操作し、起動すると、不活性ガス（二酸化炭素など）がサーバールーム内に放出される。

2 操作方法

- ① 手動起動装置を開く。
（開けると音声が出る）



- ② 部屋内の人に避難を促し、逃げ遅れがないことを確認する。

- ③ 起動ボタンを押す。



- ④ 20秒以上の遅延装置
※ すぐにガスが放出されるわけではなく、最低20秒以上（区画の形成が完了するまでの間）注意報が流れ、放出が遅延される。

- ⑤ シャッターの閉鎖、換気ファンが停止する。

- ⑥ ガス放出



＜緊急停止の方法＞
非常停止ボタンを押す



※緊急停止は④の遅延時間中のみ有効であり、一旦ガスが放出された後は緊急停止ボタンを押しても、ガスの放出は停止しません。

ポイント

ガスが放出された部屋の中には人が立ち入らないようにして、到着した消防隊に情報提供をする。